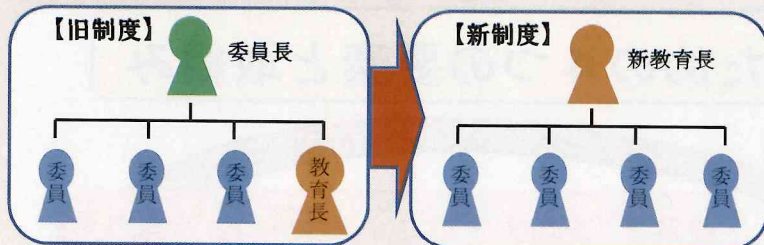


10月1日新体制でスタート!



教育委員会の制度が変わりました。



11月24日総合教育会議(市長と教育委員会5人)で「府中市教育大綱」を策定しました。詳しくは府中市ホームページをご覧ください。



府中市教育の更なる充実を推進します

これまでの委員長と教育長を一本化し、教育委員会の責任者としての「新教育長」をおくことになり、平谷昭彦教育長が就任しました。
市長と教育委員会が連携を取り、これまで以上に迅速に教育行政をすすめていきます。

題字・神田知道(純治)さん

とふめく

府中市教育委員会会報 第十四号



平成27年
12月20日(日)

編集・発行

府中市教育委員会
電話(0847)43-7178
府中市元町1番地5



「ときめく」府中の子どもたち!

「学力」…向上しています
「体力」…改善傾向にあります

平成27年度 全国学力・学習状況調査 平均正答率										
校種	小学校					中学校				
教科	国語A (知識)	国語B (活用)	算数A (知識)	算数B (活用)	理科	国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)	理科
府中市	75.9	74.6	79.3	46.1	62.8	77.3	69.4	67.1	44.0	52.4
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

平成27年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査 平均通過率							
校種	小学校			中学校			
教科	国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
府中市	76.2	72.3	66.0	74.3	75.2	52.2	70.4
広島県	74.7	71.6	65.3	73.6	70.4	50.2	68.2

広島県「児童生徒の体力・運動能力調査」結果				
県平均を上回る種目割合				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
府中市				
小学5年生	37.5%	43.7%	68.8%	62.5%
中学2年生	37.5%	12.5%	56.3%	50.0%

「学力」は、おおむね、全国・県の平均を上回っています。
「体力」は、小学校では『握力』、中学校では『柔軟性』が継続した課題です。



最近の子どもたちは、IT情報化の波に乗り、生活がゲーム感覚になっているようですが、その様な中でも、府中市の小中一貫教育は、学力・体力の向上の取組みにおいて確かな歩みを進めています。
これからも、学校教育の関係者には、「教諭は児童生徒の教育をつかさどる」とうたう学校教育法を忘れずに、思いやり「怒」の心をもっていただきたく、一文字送ります。



教育委員の任期を終えて

前教育委員

神田 純治



教育現場に縁遠い自分が教育委員をお受けして八年間、すべてが無我夢中の勉強でした。

私達の歩んだ時代とは、保護者と学校、教師と子どもたちの接し方が変わっており、個人によってさまざまな捉え方や考え方があり、接し方の難しさを痛感しました。その中で教育委員としてどのように関わっていけばよいか、深く考えさせられた八年間でもありました。

府中市立府中明郷中学校

〒726-0027 府中市篠根町 656
Tel (0847) 41-2759 Fax 41-2379
校長：高石元子 生徒数：116 名



目標

グローバル人材の育成

～^{じょ}恕の心を基盤として～

～「^{じょ}恕」とは、孔子が論語の中で示している言葉で「思いやり」です～



府中明郷中学校が目指すグローバル人材とは？

将来、自立して働く場所が海外であろうと地域であろうと、国境や文化の違いを越えて、共により良く生きようというグローバルな意識を持って生活できる人を、「グローバル人材」と定義付けています。

「グローバル」と「ローカル」の両方に、志を立てることをめざした言葉です。

グローバル人材を育成するための4つの要素と取組み

要素1「協調性・人間関係づくり」

〇ピア・サポート・プログラム



みんなで遊ぼうデー

中学校3年生が企画・運営し、小中学生の縦割り班活動を通して、「思いやり」をもった行動を目指します。

要素2「語学力・コミュニケーション能力」

〇英語にチャレンジ



平和公園で外国の方にインタビュー



府中学びフェスタでの英語スピーチ

英語にチャレンジする機会と英語を活用する場を設定しています。

恕

要素3「主体性・課題解決能力」

〇アクティブ・ラーニング



従来の先生が教える授業から、生徒が主体となって考える授業への転換を目指します。

グループワーク

要素4「異文化理解・自国文化理解」



イングリッシュ・キャンプ



「道徳」地元在住のゲストティーチャー

自国（郷土）の文化を深く学び、異文化を尊重しようとする姿勢を育てています。

学校・家庭・地域の大人が手を取り合う真ん中で、生徒が育つ学校をめざしています。

